

2025年10月19日 三重 アンケート集計

ご参加 88人

アンケート回収 59枚（掲載等の使用に同意 53枚 同意しません 2枚 無回答 4枚）

〈以下の回答は掲載等の使用に同意された方のみの分です〉

映画に関心を持たれたきっかけ

- a 4人 自身、周囲の方に解離性同一性障害の症状がある
- b 47人 解離性同一性障害について関心がある
- c 1人 ドラマとして面白そうだったから
- d 2人 キャスト・スタッフに関心がある
- e 2人 評判を聞いた
- f 10人 その他

- ・友人に誘われて
- ・三重公認心理師会で紹介があった
- ・仲先生のご推薦です
- ・チラシに興味を持った
- ・知人の誘い
- ・三重県臨床心理士会より
- ・カウンセラーの中島先生
- ・生きづらさ

自由記述

【同意します】53枚

・ 解離性障害をもつ方の症状についてあまり知らなかったので大変な症状だと思いました。次回は虐待の映画を作りたいと言われた監督さんの言葉を知って、是非見たいと思いました。

・ 解離性同一性障害の理解が深まった。誰もが性格（キャラクター）をいくつも持っていると思う。「男っぽい」ところ「子どもの心」「やさしいところ」「しっかりしないといけな自分」など持っているが、心の中で思っているその時の状況によって押さえたり出さなくように統合させているのだと思う。解離することでそれぞれを守っているというのがよく分かった。「その子」の名前の由来も意味があったのですね。以前「Itとよばれた子」だったか本を読んだことがあるが、それを連想した。

個人は尊重されなければならないと思った。トークをきいて統合でなくTeamというのがよくわかった。映画だけでなくトークによってさらに理解が深まりました。

・ 文字ではよく分からなかったけど、映像で理解できました。傍目には分からず、ご本人は苦しんでおられるのですね・・・。

・ドラマ等では見たことがあるが、中島さんのように当事者の方がサポートする側にいることがおどろきでした。もしかしたら自分の中にも☆さんがいるのかも思うことがありました。「つながりはどんな薬よりも効果がある」といった言葉は支援者としてどの方にも通ずるものであると感じました。

・1年の学びで映画が撮れるんだという思いを持つとともに、どうしても映画にしたい思いの強さを感じました。

自分の苦悩が生み出した者たちがTeamとして支え合うというのが印象的でした。どれも大切な自分、健康と言われる人にとっても同様なのかなぁと思いました。（DIDの方は本当大変なのではないでしょうか）

本人さんにとって必要だからやってきた分身さんたち、みんなもがんばっていたんですね。消えたくないんだろうなぁ。一緒にいい塩梅で生きたいんですね。

・DIDの体験・体感が分かりやすかったです。治療の対象というよりは苦しみの体現であり、苦しさにアプローチできないのであれば診断も役に立たないなと思いました。統合失調症、双極性障害と病院で診断されている方の中にDIDがかなり入っていると思います。トークがとても奥深くよかったです。理解と支援を訴えるメッセージがひびきました。

・20年活動されている中で世間の人々にDIDの症状の方の理解を広めるためにと専門学校まで通われるそのパワフルさに感動しました。あるあるトークでさらに理解が深まりました。主役の方の歌声にジーンとききました。「その」子なのか「そのこ」さんなのかよく分からなかったのですが、映画の後半で「その子」のイミが分かり、なるほどなと納得でした。チームになってみんなにすてきな名前がつくといいなと思います。ストーリー展開も楽しめる映画だなと思いました。

・少しでも解離性のことがわかった。すごく学びになりました。これから生きていく中で偏見をもたずつながりを大切にしていきたい。また機会があれば参加したいです。

・今回で3回目の拝見でしたが、毎回感じ方がちがう私がいいます。今回は、支援側の方より、当事者の方がもっと、フランクに見てもらえたら良いと感じました。システムは統合ではなくチームで！（私もそう思っている）→そのままで良いわけで、それを当事者に伝えても、きれい事としか伝わらない印象があります。（本人は統合させたい？Dr.の治療なのか？むずかしいなぁと...） 映画の裏話もきけてよかったです（^^）

・トラウマを抱えながら生き延びることの壮絶さ。今日は観に来て、本当に良かったです。心がゆさぶられました。トラウマを抱えた人達から逃げず、向き合える大人の一人になりたいと思います。ありがとうございました。

・解離については10代のころから関心があり（今、50代）たくさん本をよんだりもしていました。でも、今日は、ちょっとちがった気持ちになりました。1~3%の人がとてもつらいおもいをかかえているということ、それらがしられていないこと。今のしごとで、子ど

もたちのつながりの中で、そのそんざいがよいものになれるよう、話をきいていきたいと思いました。ありがとうございます。次回の作品もたのしみにしています。

・ 解離について偏見があったことに気づくことができました。史郎、学ぶということは本当に大切だと思いました。今回、参加できてとても良かったです。

・ つながりが薬よりも大切。とても心にしみました。つながれる大人になりたいと思っています。

・ 世の中の理解を増やすことが大事。

・ 解離性同一性障害について考えさせられました。講演ではなく映画で良くわかりました。

・ 解離性同一性障害について、いろいろ学ぶ機会となりました。友塚さんと中島さんのトークもとても良かったです。

・ システムをteamにしていくことの大切さを理解できました。

・ 初めての話も多く有意義なものだった。

・ とても理解につながりました。ありがとうございました。

・ ありがとうございました。

・ 今日はこのような会を開催して頂き、ありがとうございます。つらい場面もありましたが、良い方向への結末でほっとしました。カウンセラーの先生すてきでした。

・ 自覚がない、認められない、受容したくない、様々な感情がある背景を学べ、大変参考になりました。支援者としての関わり方を学ぶ機会があれば嬉しいです。

・ 45分でザンネンでした。2〜3hあっても良かったです。治療のリアルも再現されており、とても良かったです！次作もたのしみにしております！

・ つながりはどんな薬よりも効果がある

・ Teamという概念が人間らしくてあたたかい関係を想う事ができた

・ 解離性同一性障害について、とてもわかりやすく勉強になりました。上映、トークを見て、聞くことができて本当に良かったです。

・ 男の人が多いのにビックリしています。人数も多くて、さすがに関西弁にほっこりしています。

2回目ですが、最後のほうの“ひとりじゃない”に泣けました。毎回違うので泣けてくるわ。一人の中で5人の人々の声が、人格が変わるのも納得する、受け入れるのに時間がかかるのだろう。

最後の質問で中島先生の答え「過去からみる」ということはすごいと思いました。なかなかそういう方に出会わないので、ほんとうに会えて良かったです。

・今日は解離性について映画とトークショーを通じて、初めていろいろ学ぶことができました。貴重な機会でした。ありがとうございました。

過去のトラウマが要因となっていること、生育環境など大事で、まわりの環境が良くなっていくことが必須であることもわかりました。

生きのびていくために必要なことだと幸さんから教えていただき、自分たちにも出来ることがあるんだと感じました。

映画がとても深い内容で、最後どうなっていくんだろう、解決の手段どうしたら良いんだろうとすごく思って困ったんですが、その子さんが、自分がやるしかないんだと自律的な気づきを得られてがんばっていかれる様子の終わり方で、ホッとしましたし、つながりが薬よりも大事ということ、そこへの支援者が必要だなと感じました。ありがとうございました。

・それっぽい構成でしたが、当事者の方で納得感を持って見ておられた方がどれほどおみえかな？と感じながら見ていました。「別人格は殺人者」パターンですね。「多様性」を切り捨て過ぎだと思います。

質問に対する応答が次第にしゃべりたいからしゃべるになってしまったのが残念。

・臨床心理士、公認心理士として、医療機関で働いていた時にはDIDの方にもお会いしたこともあり、今はスクールカウンセラーとして小～高校生の子どもと保護者にお会いしています。カウンセリングだけでなく、他の人たちと協力して「つながり」を増やせるように、想像力を豊かに働かせながら、これからも臨床現場でがんばりたいと思います。貴重な機会をありがとうございました。

・映画を観て解離性同一性障害のイメージがわきました。これまでの出会った人の中でも、もしかしたらと思うこともありました。気づかないでいることの方が多いかもかもしれませんが、どう接していけば良いのでしょうか。

病気のことを広く知ってもらうことから始めたいと思います。

・複数の人格がある人を支えることは難しいなと思いました。舞台裏の話が聞けて楽しかったです。虐待、DV、次回作品期待してます。DIDがだいぶ理解できたと思う。

・解離あるあるに、あそこまで別の人格が現れるのを初めて知りました。解離性同一性障害と言う障害をもっと沢山の人に知ってもらって、苦しんでいる人が少しでも楽になってほしいです。

外からやひとめ見た感じでは全然わからないと思う。パーツである人が1つのチームとしてとらえる。そのまま受け止めると言うのは簡単ですが、とても難しいと思いました。この映画をたくさんの人に見て知ってほしいです。

・「Teamその子」今回で7回目です。まだ7回目です(笑) 毎回気づきがあり、トークセッションも学びがあります。ありがとうございます。

私は専門家ではなくただの相談員ですが、DIDの症状のある人たちとかかわらせていただくことも多々あります。SystemがTeamになってその人の力になっていけるように、応援していけるといいなと思っています。

実行委員会の皆様、三重で開催して下さい本当にありがとうございました。

・「外部でできることは内部でもできる」という言葉が印象的でした。支援者として、ていねいに話を聴いて、安全な関係をつくることを大切にしたいです。「“つながり”はどんな薬より効果がある」忘れないようにします。

・今まで解離性障害について、漠然と思っていましたが、具体的に映像で見ることで理解が少し進みました。ただ、当事者の大変さはなかなか理解することは難しいと感じます。他に、障害がある人について現状しか見ていない、という言葉が印象に残りました。

・普段福祉の分野で働くなかで、様々な保護者の方と出会います。その中には色々な精神疾患を抱える方がみえます。2-3%の人、というお話がありましたが、気づかないうちに出会っているのに、気づいていない自分が残念だなと思いましたし、映画で初めて知った当事者のこともありました。

正直、色々な考え、思考、感情がゴチャゴチャになり、うまくかけません。

普段仕事でも、同じ職場でも、“子どものこと” “気持ち”をどうして考えられないんだろうという人がたくさんいます。もっと“子どもがどうしてそういうことをするんだろう？”とか、その人のことを考えられる環境が広がっていくといいなと思います。

中島先生のお話にもあった、“今の問題行動”にしか焦点をあてず、“だから子どもが悪い”という大人(支援者)がもっと減っていくとよいと思います。

・今日は、来たい気持ちと来たくない気持ちと、両方ありました。私はDVと性虐待の当事者です。診察では解離性同一性障害と診断されたわけではありませんが、何かのめりこんでないと自分がわからない感覚があります。依存症の当事者でもあり、自助グループにつながり20年になります。耳鳴り、頭痛、不眠、うつ、最近きついです。

こんなもの買った覚えがなかったり、今がわからなくなったり、アディクションが失くなくなったら、とてもしんどいと感じています。

今日10月19日は私の生まれた日です。きっと、生まれた日にこの映画を見れた事は、何かのめぐりあわせかなと思います。有難うございました。

もう40年以上経つのにフラッシュバック、起きてしまうのが辛いし、情けない。いつまでもいつまでも追いかけてる感でいっぱい。生まれてきてよかったと、死ぬまでに思いたいな!!

・以前高校の養護教諭時代にDIDの生徒に寄り添い、学校に健康相談に来ていただいていた精神科医につないだことを思い出し、振り返ることができました。精神科医も寄り添ってくれ、統合にこだわらず見守ってくれたので、とてもありがたかったです。現在はスクールカ

ウンセラーとして寄り添える人であり続けるために努力しています。本日のお話は大変勉強になりました。ありがとうございました。

・ 3度目拝見しました。毎回初めての時のように心に迫ってくるものがあります。次回作に期待しています。

幸さんの最後の言葉、子どもたちの近くで話を聴くために今の職(SC)に就いた、そのことが間違いではなかったと、今の自分の思いを確認できました。ありがとうございました。

・ 映画ではDIDはかなり分かったように思えますが、後半のあるあるトークからさまざまなトークは大変興味深くきかせて頂きました。深い心の傷はつながりが重要。外部でのつながりが大事であると同様に、内部でのつながりが大切。
とても人間的に魅力的な登壇者の方々です。本当に心温まる未来につながるエネルギーを感じ、ありがとうございました。

・ 解離性同一性障害は現代病なのでしょうか？私が学生の頃(30年～前)には、知られていなかったと思うのですが...

特定のトラウマ(虐待や暴力など)でのみおきるのか？戦争体験などとても辛い経験をされてきた昔の方々には起きているのでしょうか？

・ 映画はDIDが分かりやすく描かれていて、理解が深まりました。次回作も楽しみにしています。中島さんとは10年ぶりにお話を聞かせていただき、とても感激しました。人と人とのつながりが少しでも温かいものでありますように。

・ 犯罪被害者の支援に携わり、多くの方が解離の症状があり、中にはDIDの方がいることを知りました。これから支援に当たって理解を深めたいと思い参加させていただきました。映画という媒体でとてもわかりやすく、またDIDの方の苦悩について改めて考えさせられました。

・ 昔、大竹しのぶ主演のドラマで見たことがあります。きょうで2回目ですが、理解できたとは言えません。本人にとって必要なんだろうな、と思います。本人が強くなろう、逃げずにガンバろうとすれば、軽くなるのでしょうか？そうだと、いいです。

・ つながりはどんな薬より効果的という言葉が印象に残りました。解離について知る、トラウマについて知る。まずは知ることからはじめていきたいと強く思いました。来て良かったです！！

誰もが幸せになるために学ぶこと、人権教育にもつながると思いました。子どもたちのため、また明日からがんばろうと思いました。

・ 小説を読んだりドキュメンタリーの映像を観たりで、どういうものかと少しの知識はありましたが、映画では自分の知識のもっと先にある生々しさが表現されており、薄っぺらい知識をアップデートしていただきました。これからも勉強していきたいと思います。ありがとうございました。今回参加できて良かったです。

・「Teamその子」を観ることができたことに感謝します。ほんの少しですが、解離について知ることができ、支援の大切さが分かりました。ありがとうございました。トーク会は、生の声を聞かせていただき、勉強になりました。

・私には解離性障害はないが、私の中に色々な事を考える自分がある。こんな事を思っただめと否定するのではなく、一つ一つの思いを大切にしていきたいと思った。色々な人間がいないと一人ではかかえきれないトラウマ。一つに統合するのではなくチームである。

トークで印象に残った事:つながりはどんな薬より効果がある。

・友塚さんや中島さんのお話はとても中身の深いものでした。中島さんのアメリカでの話もとても興味深かった。もっとお話を聞きたいと思う。

ぜひ四日市市でも上映したいと思いました。解離をしなければ生きてこれなかった人々の話。もっと考えていかなければならないが、少しでも自分も手助けができたらと考えました。今日は参加して良かったです。